

平成22年度 第6回流山市福祉施策審議会 会議録

日時 平成23年 3月16日(水)
午後10時～午後11時15分
場所 流山市水道局大会議室

1 次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) 議題

ア 流山市高齢者総合計画の策定について
イ 流山市地域福祉計画の策定について
ウ 流山市障害者福祉計画の策定について
エ 高齢者等給食サービスの費用負担変更について

- (4) 閉会

2 配布資料

- (1) 平成22年度第6回流山市福祉施策審議会次第
- (2) 流山市高齢者総合計画策定方針
- (3) 流山市高齢者総合計画策定スケジュール
- (4) 流山市地域福祉計画策定方針
- (5) 流山市地域福祉計画策定スケジュール
- (6) 流山市障害福祉計画策定方針
- (7) 流山市障害福祉計画策定スケジュール
- (8) 高齢者給食サービスの費用負担変更について

3 出席者

委員・・・石塚 三喜夫 笠井 和代 漆原 雄一 池上 諄一 米山 孝平
松本 裕美 鈴木 孝夫 小金丸 孝裕 中 登 大野 トシ子
白野 幸子

事務局・・・健康福祉部長 吉田 康彦 健康福祉部次長兼障害者支援課長 小笠原
正人 健康福祉部次長兼健康増進課長 井上 透 高齢者生きがい推進
課長 栗田 徹 介護支援課長 上村 勲 社会福祉課長 村越 友直
社会福祉課健康福祉政策室長 友野 哲雄 障害者支援課長補佐 山口
隆 介護支援課介護予防係長 有馬 恵美 介護支援課介護予防係主査
黒川 律子 社会福祉課健康福祉政策室主査 市川 充宏

傍聴者・・・2人

4 議事録

【開 会】 健康福祉政策室長

【挨拶】 米山 孝平会長

【質疑応答】

(1) 流山市高齢者総合計画の策定について

議 長： 事務局から説明がありました。皆さんから御意見・御質問をお願いいたします。いかがでしょうか。

漆原委員： アンケートと調査の対象者、サンプル数、内容について教えてください。

友野健康福祉政策室長： 65歳以上の高齢者の方2,000人、在宅の要支援・要介護認定を受けている方1,000人を無作為抽出して郵送により送付・回収を行います。アンケートの内容としては、国の定めた調査項目に加え高齢者のニーズや社会参加、健康、介護保険サービス・介護保険料等についても調査することといたしたいと考えています。回収されたアンケートは、地域の特性に合わせた計画を策定するため、市内を4地区に分け解析を行うこととしています。また、介護保険サービス事業者調査を事業者約150件程度に送付し、事業所の運営や認知症対策、高齢者の権利擁護について把握したいと考えています。

議 長： 他に質問はありませんか。ないようでしたら次の議題に移ります。

(2) 流山市地域福祉計画の策定について

議 長： 事務局から説明がありました。皆さんからの御意見・御質問がありましたらお受けします。いかがでしょうか。

漆原委員： 市民参加のところで、高齢者総合計画の策定ではアンケート調査を行うとのことでしたが、地域福祉計画ではそのような聞き取り調査は行わないのでしょうか。

友野健康福祉政策室長： 地域福祉計画においては、市内4会場で公聴会を行いますので、その席で市民の意向等の確認を行っていきたいと考えています。

漆原委員： 地域福祉計画は広い範囲にわたっているので、計画をつくるにあたって、もっといろいろな調査を行ったほうがよいと思うのですがいかがでしょうか。

市川健康福祉政策室主査： 今回の高齢者実態調査の中でも、地域との関わりやボランティアについての項目があり、その結果については分析評価していきたいと考えています。また、毎年、行政改革推進課でまちづくりアンケートを行っておりまして、その結果については経年変化が把握できることから、有効に活用していきたいと考えています。

議 長： 他に質問はありませんか。ないようでしたら次の議題に移ります。

(3) 流山市障害者福祉計画の策定について

議長： 皆さんからの御意見・御質問をお受けします。いかがでしょうか。

議長： 質問はありませんか。特に質問がないようでしたら次の議題に移ります。

(4) 高齢者等給食サービスの費用負担変更について

議長： 事務局から説明がありました。皆さんからの御意見・御質問をお受けします。いかがでしょうか。

大野委員： 自己負担額のアップというのは、よろしいのではないかと思うのですが、2年前に業者が変わって、その際私も試食させていただきました。味も結構よかったので、ここに決まったのですが、だんだん日がたつに従って味が落ちたと聞いています。ただ、席を置いておけば年末には社会福祉協議会からお節料理が届くということから、登録を続けてその時期に配食を再開するという人もいます。まず、伺いたいのは、市では、試食等を行い業者指導を行っているのか伺います。あと、個人負担は、近隣では流山市が一番安いのですが、高齢者は結構連絡網があって、他市と比較して値段云々ではなくて味を変えてほしいという要望もあります。少し高くてもおいしいものが食べたいという、利用者の要望をどう考えていますか。

上村介護支援課長： 試食につきましては、調理担当業者が変更になってから数回試食をさせていただいております。味や値段につきましては、事業者の責任者と話し合ひまして、地元の食材や味のレベルについて尋ねたり、工夫はできないかという注文をさせていただきました。その結果、事業者のほうでも相当がんばりまして、配送車や容器に工夫をしながら、冷たいものは冷たいまま、あったかいものはあったかいままで利用者に食べていただく、また、高齢者のレベルに合わせて、ご飯であればやわらかめ、五分かゆ、三分かゆ、きざみというように高齢者の状況にあわせて配慮し、塩加減等工夫をして配達しております。委託料については、いっぱいいっぱい業者としては値上げをしてほしいという要望もっています。従いまして、食べる方の状態もあろうかと思いますが、最大限努力しているものと認識しています。

大野委員： 平成22年1月末の実績利用者数3,402人、配食数35,970食となっていますが、登録者数は何人なのか教えてください。

黒川介護支援課主査： 2月中旬での登録者数424人と把握しています。

白野委員： 給食の費用のことなのですが、利用者の方は値上げしては困るとかいう意向を聞いているのでしょうか。

上村介護支援課長： 結論から申し上げますと利用者の方にこの金額について、値上げをするという旨は意向確認の通知しておりません。通知しアンケートを行えば、大方の方は、駄目だという回答になると値上げについては思いま

す。私どもとしては、この審議会の審議結果を踏まえて、今後の対応をしていきたいと思っています。費用負担の変更については、この審議会が始めの一步と考えていただきたい。

中 委員： 利用者で民間の配食サービスと市の配食サービスを摂っている方がいらっしゃるしまして、民間の配食サービスは、たまたまそうだったのかもしれませんが、容器が発砲スチロールでした。市の配食サービスは、食器が陶器になってまして、保温もしっかりしていると思いました。高齢者の配食サービス事業は、私個人としては非常に良い事業ではないかと思えています。その中で、国からの指導があったということは、謙虚に受けとめて判断しなければいけないと思います。利用者負担につきましては、他市と比較して少ないということですので、これまでが恵まれすぎていたという状況にあるかと思っています。ですから、350円から400円に値上げするのはやむを得ない状況かと思っています。ただ、事務局からの説明ですと、値上げについては利用者に説明されていない。福祉施策審議会の意見を踏まえてということですので、十分利用者の意見を聞き、納得をいただいたうえで、実施されたいと思います。平成23年度からの値上げとなりますと、もう時間がないので、非常に無理な状況だと思えます。今説明のあったように第5次の流山市高齢者総合計画が平成24年度から始まるということですので、この計画に合わせて利用者の意見も十分把握して執行するようにされたいと思っています。

鈴木委員： 値段の問題ですが50円アップというのは、ちょっと厳しいかとも思いますが、他市と比較した場合には、やむを得ないのかと思います。実施するにあたって、十分に利用者の意見を把握していただいたうえで行っていただきたいと思っています。

漆原委員： 私もほぼ中委員さん鈴木委員さんと同じ意見なのですけれど、見守りも含めてこのようにやっているということは、利用者が増えていったほうがよいと思います。このようなサービスを受けていることで、独居老人がもしもの時に一命を取りとめるということもあると思います。独居老人の方々が、こういうサービスを受けられて幸せだと思います。そういう状況の中で、国から言われたからそうしますということではなく、総合的に考えて値上げしてよいのか。現場で努力されている方は、ギリギリの状況だと思いますが、利用者の意見を聞きながら考えていったほうがよいのかと思います。

上村介護支援課長： 御審議いただいた内容を参考にさせていただきたいと思っています。高齢者等給食サービスの費用負担変更については、平成23年度のスタートに向け諸準備を進めてまいりました。そして、周知期間を踏まえて7月から値上げを予定したところですが、皆様方のご意見を参考にさせていただきながら、値上げをお願いする方又は所得に応じて軽減させていただく

方等を、高齢者総合計画策定と併せ、検討して再度お諮りしたいと思います。

議長： 審議は尽くしたようでございますので、その他で委員の皆さまからご意見等はありませんか。

白野委員： 今回の地震で感じたのですが、障害者も高齢者も該当すると思うのですが、計画停電が流山市は3つのグループに分かれています。細かくはホームページを見てくださいますとありますが、家の近所には新聞もとっていないし、インターネットの使い方がわからない高齢者の世帯がいます。私は、計画停電の予定を調べまして、わからなければということでその世帯には知らせました。計画の策定にあたっては、こういうことを踏まえて作っていただきたいと思えます。

吉田健康福祉部長： 計画停電に関しましては、災害対策本部は解散いたしました。インターネット以外にも近々に自治会をとおしまして回覧文書を作成しています。それと併せて新聞店の折り込み広告で、具体的な地域を示した一覧を各世帯に配布するよう努めています。また、3月21日の広報で災害特集を発行することとなっています。

白野委員： 今回いろいろなことで戸惑っていると思えますので、よろしくお願ひします。

吉田健康福祉部長： 地域のつながりということが求められています。今回の地域福祉計画策定に含まれる部分があり、今回の地震での対応と一致しているところがあると思えます。

白野委員： 自治会で担当を決めてこういうことがあった場合、情報をキャッチしてコピー機があればコピーして、配付するとかというシステムがあればよいのかなと思えます。市の職員の方が説明のあったように行うのには時間がかかりますよね。何か自治会で行うことができればよいと思えます。

鈴木委員： 実は15日付けでコミュニティ課から各自治会長宛てに文書が来ました。実は私、自治会長やっているのでが早速回覧にして町内に回しました。市はすぐに対応しているようです。お年寄りには、インターネットで周知することは難しいと思えますので、回覧の要請がありました。

池上委員： 今回の地震のことでわかったことは、大変悲惨なことなのですが、逆にこんな時だから助け合いの意識を持つ良いチャンスはないと思えます。市からの連絡を待っているだけではなくて、自分たちで出来ることはやろうということが大切だと思えました。市が悪い、どこが悪いではいけないと思えました。

白野委員： 自分で出来ない人もいますので、そのような世帯に協力しています。近所の世帯なのですが新聞もとっていないし、テレビを見てもわからないと云うのです。少しでも自分で行うよう努めてもらいたいと思えますが、そういう方々には市においても対応してもらいたいです。

池上委員： 私は3年間介護を受けていますが、もう少し自分でやるという意欲がないのかなあと思うのです。何かすべて待っているのですよ。自分で判断する意欲がないと自分に降りかかってくるわけです。いざという時に自分でやらないと、自分を守れないという意識を持たないと駄目だと思います。そういう雰囲気をみんなで創っていければと思います。

白野委員： 先ほどの世帯ですが新聞くらいは自分でとってほしいなあとと思います。新聞には、広報紙が入っているので市の情報が得られます。市役所に行けば、広報紙はありますというのですがそれを取りに行くのも難しいようなのです。もう少し前向きになってほしいと思います。

笠井委員： 障害者団体連絡協議会と市の意見交換会は、年に一度の開催で少ないと思われま。障害者や関係者の意見を聞く機会が少ないのではありませんか。

山口障害者支援課長補佐： 障害者団体連絡協議会の他に障害者推進会議を年に数回開催しております。委員の中に障害をお持ちの方や関係者がいるので意見は何っていると認識しております。

大野委員： 計画停電の関係なので、全世帯にはお知らせしていませんが、民生委員として、地震が発生した段階で安否確認を行っています。その翌日に家の状態はどうかというようなことを確認し報告を受けています。計画停電についても、要援護者の台帳に名前をいただいている方には、連絡をしています。

漆原委員： 保育園父母会連絡会をやっています。計画停電の関係では帰宅困難の状況が生まれています。保護者の中でも迎えが多少遅れる方が生じているのではないのでしょうか。その対応についてはどのようにされていますか。

吉田健康福祉部長： 3月11日の震災の時には帰宅困難者が出まして、市内4か所の避難所を開設し、400名程度の帰宅困難者が一晩利用しました。保育所では東京方面に勤めている保護者の方が家に帰れない状態になってしまいました。各保育所で延長保育を行い一晩対応させていただきました。計画停電が実施され、父兄の皆様には不安を与えるような中で行政ができることはやっております。本日はこのような状況の中でお集まりいただきまして貴重なご意見有難うございました。

漆原委員： 市役所の方や関係団体の方には、ご苦勞をおかけして感謝しております。流山市については、大きな被害はなかったとホームページに書いてありました。ひとつお願いがあるのですが、保育園の耐震化について対応をお願いしたい。出来れば私立についてもお願いしたいと思います。

議長： 本日の議事は以上をもちまして終了します。ご協力ありがとうございました。